

# 日々 往来



田口 哲也

金融広報中央委員会が行った小論文コンクールの入賞作品で、高校生が「きびだんごは、犬やキジやさるにとり、鬼退治という労働の対価としてふさわしかったか」について興味深い考察を行っている。

詳細は省くが、丁寧な試算も行った上で、「きびだんごの金銭的価値だけみれば全く釣り合わない」が、「彼らは、町や村のために鬼を退治するやりがいや、かけがえの

## 桃太郎ときびだんご

ない仲間を得たことな  
ど、お金に換えられない  
価値が欲しかったのかも  
しれない」と結論づけて  
いる。別の入賞作では、  
より直接的に人が働く理  
由を「誰かの役に立ち、  
家族もともに幸せにでき  
る」ことに見いだした生  
徒もみられる。

最近当方は、鳥取の中  
高生の前でお金や金融に  
ついて話す機会を得た。  
生徒たちの目が最も輝い  
たのが、県内各地で金融  
機関が最近の金融ITも  
活用して地域経済の活性  
化に貢献していること  
を、具体例を交えて紹介  
したあたりであったのが  
印象に残った。

若い世代の地元定着や  
I・J・Uターンの促進を考  
える際、都市圏と比べた  
賃金格差の存在やその一  
因としての生産性格差が  
ネックとして指摘される  
ことが多い。なるほど経  
済原理の面からは、避け

(日本銀行鳥取事務所長)